

新年あけまして

おめでとうございます



年頭の挨拶



和水町長
坂梨 豊昭

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春をご家族の皆様で迎えられましたことと、心からお慶び申し上げます。旧年中は、町政各般にわたり深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、暮れの十二月の衆議院総選挙において、政権交代が行われ、新たに国政がスタートしました。四月には熊本市が政令指定都市に移行し、権限と責任のある自立した自治体を目指し、九州中央の拠点都市づくりが進められています。全国的に見ても地方分権時代の到来、地域主権改革の進展と共に道州制の論議など、これからの地方自治体においては、和水町も含め、地域自らの工夫や提案が求められる時代であり、地域で頑張っておいでに

る住民の皆様方が主役となるような地域（まち）づくりが最も重要であると感じています。

和水町におきましても、自らの判断と責任のもとに地域の特性を最大限に活かしながら行財政基盤を構築するべく、各施策を推進してまい

る所存です。

今日、基幹産業である農業面におきましては、TPP問題が混迷の二途をたどっており先行き不透明であります。また、観光面におきましても、グリーンツーリズム事業の手渡し和紙体験やカップ飯体験をはじめ、福岡県を始めとした県外の観光客誘致に力を注いでまいりました。

その他にも、少子化対策や定住促進など人口減少に歯止めを掛ける対策として、昨年七月から出生祝金を第三子から支給しています。町の宝であり担い手となる子どもを大切に、誰もが住みたくなるような環境づくりを進めてまいります。

また、小中一貫教育により児童・生徒が切磋琢磨し相互扶助の精神を養い自己研鑽できる教育環境の充実



町議会議長
多賀 勝丸

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より議会に対し、温かいご理解とご協力を賜り、議会を代表いたしまして厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、和水町においては大きな自然災害もなく平穏な年でしたが、阿蘇地域におきましては七月に発生しました集中豪雨によつて甚大な被害が発生いたしました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈りいたしますとともに、大震災の復興が遅れています東北地方、そして、九州北部地方の一日も早い復興を願うところでございます。

さて、国内情勢では、円高などから輸出環境の悪化の影響等により日本経済は明るい見通しがたらず、極めて厳しい雇用環境が一層悪化し、デフレもさらに深刻な状況の中「特例公債法案成立」の遅れ等国会の混迷した政治が続き、十二月に衆議院の解散、そして総選挙と慌ただしい年末でありました。

民主党政権から自民党政権への変

化に対し、私たちは、経済の立て直し、しつかりとした日本の舵取りを期待するところであります。

一方、明るいこともありました。第三十回夏季オリンピック・ロンドン大会が七月に開催され、一九二二年のストックホルム大会の金栗四三翁の初参加からちょうど百周年。日本人が「金・銀・銅」合わせて三十八個のメダルを獲得しました。中でも「北島康介選手を手ぶらで帰すわけにはいかない。」と強い絆でメダルを獲得した、競泳男子メドレーリレーなど数々の感動を生み、日本中がその功績に歓声が沸くという明るい話題もありました。

このような中、我が町としましては小中学校統廃合の大事業も進んでおり、造成工事が着実に進んでいるところ

です。

学校跡地利用については、地域の代表の方並びに議員の代表の方と、しっかりと検討されているところで

す。

また、農業後継者不足、少子高齢化、定住促進対策等、この町も同じですが、大きな課題が山積みしております。

本年も内外の経済、社会情勢の厳しい中ですが、町議会に与えられた町民の皆様からの信託とご期待に添うべく、執行機関と互いに切磋琢磨しながら、住んでよかったと思える町作りの実現に向けて議員一同、鋭意努力してまいります。

町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、町民の皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



和水町立病院 院長
志垣 信行

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様も健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は東日本大震災や原発事故の処理が十分できないまま外交問題が加わり、更には世界に誇る日本の大手電機メーカーが衰退するなど景気が悪化しているなかで消費税増税が決定され、日本の政治・経済はいっそう混迷の度合いが増してしまつたように思えます。昨年暮れにはいろいろな政党が乱立し、それぞれが聞こえの良い政策を訴えましたが、現実に達成するのは困難な問題が多い

ようです。たとえば原発を廃止し、消費税増税もせず、景気が良くなつて国の借金が減り、社会保障も十分提供できれば良いのですが、いろいろな要素が複雑に絡み合つて簡単に事が運ぶとは思えません。外交問題にしても領土問題が日本の主張にそつて解決し、かつ相手国との関係も良くなるなど考えられません。何かを得るときには他のものを犠牲にしな

を目指すため、今日、小中学校統廃合事業を進めています。

三加和区域においては、平成二十六年四月開校を目指し、校舎の建設及び既存校舎の改修を進めます。

二、菊水区域においては、平成二十七年四月開校を目指し、本年、九月から校舎の建築に着手する予定です。工事と並行し跡地活用についても、町民サービスの向上及び町民全体の利益に資するための公共公益施設として有効活用を検討してまいります。

結びに、昨年来、我々を取り巻く環境はますます厳しさを増し、雇用問題や景気問題及び年金問題など日本国内のみならず世界的に難問が山積みしています。

しかしながら、地域の皆様の生活を支えるのが我々の役割であります。皆様のお力をお借りしながら地域経済発展のため、最大限の努力をしてまいりたいと存じます。町民の皆様には、引き続き町政に対するご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

ければ物事は進まないのでしょうか。十二月の衆議院総選挙では、民主党から自民党への政権交代がなされたところですが、この不安定な状況をぜひとも打開していただき、安心して暮らせるように、頑張っていただいたいのものです。政治家も大変とは思いますが、ある時は強いリーダーシップを発揮し、ある時は粘り強く交渉を行い、微妙なバランスを保ちながら少しでも日本にとっての益を確保し損失を抑える施策をとってもらいたいものです。

最近、有名芸能人が癌になったという話題が多く取り上げられました。それも四十歳代、五十歳代の若い人たちです。早期発見できれば手術で治りますが、運が悪いと命取りになります。町立病院としても今以上に健診に力を入れていく所存ですが、まずは皆さん一人一人が自身の健康、そして家族の健康に気を配ることが大切だと思います。

最後に町民の皆さまにとりまして今年が幸多き年になりますよう心から祈念申し上げて年頭のご挨拶といたします。

